



藤岡市

第87号

# 議会だより

『藤岡市制施行65周年記念花火大会』開催！

開催日時：令和元年8月24日（土曜日）午後7時より

※雨天の場合、翌25日（日曜日）に順延

開催場所：神流川河川敷（藤武橋下流）

定例会は、6月13日から6月25日までの13日間の会期で開催されました。  
藤岡市等公平委員会委員の選任についてなど21議案が提出されました。

◇13日：本会議 会期の決定。

市長提出議案19件を上程  
即決。

◇20日：本会議 一般質問。

◇21日：本会議 一般質問。

×25日：本会議 追加議案1件、  
議員提出議案1件を即決。

6月定例会の  
あらまし

## 正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長  
内田 裕美子

議長  
野口 靖

市民の皆様に就任のご挨拶を申し上げます。市議会の活動につきましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、令和元年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、私どもが議長・副議長の要職に就くことになりました。今、改めてその重責と使命の重大さを痛感しているところであります。

令和元年の今年は、市制施行65周年であり、今月24日には記念花火大会が盛大に開催されます。新元号「令和」の

始まりの年となる記念すべき年に、輝ける未来に向かって、藤岡市の更なる発展を願い、心に残る、感動する花火大会が開催されることを期待しています。

二元代表制の一翼を担う市議会としては、市長をはじめとする執行機関と真摯な議論を重ね、行政のチェック機関はもとより、意思決定機関としての責務の重さを認識し、市民の皆様と共に、より住みやすい豊かな藤岡市実現のため、誠心誠意努めてまいりましたと考えています。

## 議会運営委員会及び常任委員会の委員が選出される

◎委員長  
○副委員長

小西 針谷 離田 関口  
貴子 賢一 行隆 茂樹

### 議会運営委員会（8名）

◎ 吉田 達哉 ○ 中澤 秀平  
大久保 協城



所管

議会の運営並びに議長の諮問に関する事項。その他、議会だより編集委員会委員及び議会基本条例推進委員会委員を兼任

## 総務常任委員会（6名）

◎委員長  
○副委員長

青木 茂 岩崎 小西  
貴俊 光雄 和則 賴子

◎ ○  
窪田 行隆 隅田川 徳一



### 所管

企画部、総務部、鬼石総合支所（総務常任委員会の所管する事項に限る。）、会計課、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項

## 経済建設常任委員会（6名）

◎委員長  
○副委員長

野口 冬木 橋本 関口  
靖一 俊一 新茂樹

◎ ○  
丸山 針谷 賢一



### 所管

経済部、都市建設部、上下水道部、鬼石総合支所（経済建設常任委員会の所管する事項に限る。）  
及び農業委員会に関する事項

# 教務厚生常任委員会（6名）



○委員長  
○副委員長

中澤秀平  
湯井廣志  
大久保協城  
内田裕美子

◎ 吉田達哉  
◎ 松村晋之

## 所管

市民環境部、健康福祉部（福祉事務所）、鬼石総合支所（教務厚生常任委員会の所管する事項に限る。）、藤岡市国民健康保険鬼石病院及び教育委員会に関する事項

## 議案等審議結果〈5月臨時会〉

番号	件名	結果
<b>市長提出議案</b>		
報告4号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	賛成（全員）
報告5号	専決処分の承認を求めるについて（藤岡市税条例等の一部を改正する条例）	賛成（全員）
報告6号	専決処分の承認を求めるについて（藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	賛成（多数）
報告7号	専決処分の承認を求めるについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	賛成（全員）
報告8号	専決処分の承認を求めるについて（平成30年度藤岡市一般会計補正予算（第5号））	賛成（全員）
報告9号	専決処分の承認を求めるについて（平成30年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号））	賛成（全員）
第47号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員）
<b>選挙、選任</b>		
第1号	議長の選挙	当選
第2号	副議長の選挙	当選
	常任委員会委員の選任	選任
	議会運営委員会委員の選任	選任
第3号	多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の選挙	選挙
第4号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙	選挙
第5号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	選挙

## 議案等審議結果〈6月定例会〉

番号	件名	結果
<b>市長提出議案</b>		
報告10号	平成30年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告（全員）
報告11号	平成30年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告（全員）
諮問2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議申し立て（全員）
第48号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同意（全員）
第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員）
第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員）
第51号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第52号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員）
第53号	藤岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第54号	藤岡市介護保険条例の一部改正について	可決（全員）
第55号	藤岡市敬老祝金条例の一部改正について	可決（全員）
第56号	藤岡市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決（全員）
第57号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決（全員）
第58号	財産の取得について	可決（全員）
第59号	字の区域の変更について	可決（全員）
第60号	市道路線の廃止について	可決（多数）
第61号	市道路線の認定について	可決（多数）
第62号	令和元年度藤岡市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第63号	令和元年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第64号	監査委員の選任について	可決（全員）
<b>議員提出議案</b>		
第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	可決（全員）

## ◆ 6月定例会 一般質問 ◆

### 民間事業者による太陽光発電施設設置に係る市の対応について

丸山 保

ツト以上のものが820件、合計で2929件です。平成30年3月末と比較して、平成30年3月末で178件増加しています。

は数件寄せられています。反射熱のこと、パネルが隣地境界ぎりぎりに設置されている、ガイドラインに違反しているなど、市で対応してほしいという内容です。このような苦情に対応するため、9月を目処に指導要綱が制定できるようスピーデ感を持つて対応したいと考えています。

農地転用許可及び届け出件数は、平成25年度から平成31年3月末までの第4条及び第5条の合計件数で232件、平成30年9月末より28件増加しています。景観法及び藤岡市景観条例に基づく届け出件数は、平成25年度から平成31年3月末までの合計件数が146件で、平成30年11月末より16件増加しています。

「豊かな環境を次世代に引き継ぐ、自然と人が共存するまち藤岡」のとおりだと思います。

最近の動向として、太陽光発電設備の設置件数はどうのくらい増加したか。また、太陽光発電施設を目的とした農地法第4条、第5条の増加件数、景観法等届け出件数について伺います。

答 平成30年12月末現在で10キロワット未満のものが2109件、10キロワ

答 苦情やトラブルの相談

問 太陽光発電の設置により、各地区において近隣住民説明会が開催されないまま工事が行われ、事業者と近隣住民のトラブルになっています。また、太陽光パネルの反射光、反射熱、除草、樹木の伐採、土砂災害、水害、傾斜面、景観問題など、数多く苦情を聞いています。本市に寄せられた苦情やトラブルの対応について伺います。

答 サービスを休止している事業所に再開を働きかけたり、在宅介護を支える事業所の整備普及を支援しています。さらに介護人材確保のため、県と協力していきたいと考えます。

**高齢者支援について**

蓬田 行隆

問 訪問介護員の不足で、複数の事業所が訪問介護を取りやめています。本市の対策について伺います。



現在行っている2地区以外でも実施する必要があるとを考えますので、各地区的地域支えい協議体へ情報提供を行っていきたいと考えます。

問 高齢ドライバーの事故防止と、高齢者の移動支援のためにタクシー券の交付が理想ですが、課題もあります。そこでタクシー事業者と協力して乗り合いタクシーを導入するべきだと思いますが、考えを伺います。

答 公共交通には様々な課題があり、今後はバス路線の新設や乗合タクシー等も含めて検討していくたいと考えています。

### 文化振興について



問 文化振興行政を市政に位置付け、心の豊かさが実感できるまちづくりを進めるために、文化振興条例の制定が必要だと思いますが、考えを伺います。

答 市内の各園と、地域住民、道路管理者などの協力を得ながら、実施に向けた検討を進めていきたいと考えています。



## 小中高生の通学路の危険及び対策について

小西 貴子

問 通学路の安全確保として、安価にできてしまふ事で、抑止効果の高い施策である、全面グリーンベルトを重点的に整備していく考えはあるか伺います。

答 グリーンベルト整備は安全な通学路環境を確保するためには有効な対策と認識していますので、関係各所と協議を進め、実施する考えています。また、狭い道路の解消等、通学路の安全確保に関わる道路整備に努めています。

問 災害時には迅速な情報共有が大事ですが、本市には防災無線もないため、代替手段を検討すべきと考えます。今すぐ確立できる手段として「FMぐんま放送」を活用すべきと思いますが、ラジオと電池の常備を周知するなど、災害時の

市民安心へのサポートをする考へはあるか伺います。

答 災害発生時の情報を市民が自発的に収集する取り組みを推進していますが、停電時ということも踏まえ、さまざまな方法で告知していきたいと考えています。

問 災害時、小中学校への避難が中・長期になつた場合、誰が避難所を運営するのかという問題が発生すると言られています。区長を中心、地域の方に事前に運営をお願いしておくなど、全ての学校で災害時の避難所の運営及び支援について計画しておく必要があると考えますが、学校避難所運営計画を作成しているか伺います。

答 災害時などにおいて、市災害対策本部が開設・運用を行い、被災者の安全を確保することなどを目的に、藤岡市避難所運営マニュアルを本年3月に作成しています。

問 新しいハザードマップ

## 交通安全対策について

内田 裕美子



問 昨今全国において高齢ドライバーの悲惨な交通事故が多発していることを鑑み、通学路、保育園、幼稚園周辺はもちろんのこと、市内全域において安全点検を行い、危険箇所の把握と安全対策を実施し、市民の大切な命と安全を守るために万全を尽くすべきと考えますが、見解を伺います。

答 今後も国の中向を見ながら、本市でも実施可能な施策を見きわめ、調査研究し、高齢者の交通安全対策に努めます。

## 災害対策について

問 自分自身の災害行動計画を立てておくマイ・タイムラインを活用し、大人から子どもまで日々から災害について考える」とは重

答 千年に一度よりも大きな災害規模を予測した内容を示し、これまでの公助・自助による取り組みに加え、スピーディ感を持って早急に行動ていきます。

をどのように活用し、周知をするのか伺います。

答 まさしく待ったなしの状況でありますので、防犯カメラの設置を含めながら、関係機関と、通学路の徹底的な安全対策、さらには子ども目線での安全対策を、整理した自分自身の防災行動計画マイ・タイムラインについては、災害時ににおける判断のサポートツールとして役立つことから、次ステップとして導入を検討します。

問 交通事故防止策として考えられる策として、アクセルとブレーキの踏み間違えによる急発進を防ぐなど、事故防止に効果的な装置の取りつけやドライブレコーダーの設置、先進安全自動車の購入は有効かと思います。これらの購入に補助をする考えがあるか伺います。

問 お湯を沸かしたり、衛生的な哺乳瓶を確保することは困難な災害時には、液体ミルクが役立ちます。本市としても液体ミルクを災害備蓄品として備蓄する考えがあるか伺います。

要です。本市としても取り組むべきと思いますが、考え方を伺います。

答 いつ、誰が、何をするのかをあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画マイ・タイムラインは保存期間が短いことから、今後試験的に導入し、検証していきます。



## 給食センター・給食調理業務等の民間委託について

中澤 秀平

問 経過と経緯について伺います。

答 本市における学校給食は、長年にわたりセンター方式により正規の調理職員と嘱託職員の調理による提供を行つてきました。正規調理職員については、定期年退職による人員の減少と高齢化による労働力の低下が課題となっていました。今後も正規調理職員の退職に伴う補充がない中、嘱託職員の採用で対応することは、給食の安全性や衛生管理などを考慮しますと非常に困難です。

問 民間委託について保護者などの当事者に意見を聞く機会を設けたか伺います。

答 民間委託については、民間委託した場合の効果を検討した結果、経費削減効果があること、調理員の適正な人員が確保できること、これらのことによる多様な献立への対応やアレンジ食の提供が可能となることが期待できることから、平成31年3月に、2020年度、令和2年度からの委

託開始を目指すことを決定しました。

になりました。

量は推定で16万3645・35立方メートルです。

管理状況は、一部の市有林については過去に境界の確認や杭の整備を行いましたが、境界確定等はされていません。伐採した場合の収支は、近年の輸入材の普及により、木材価格は下落傾向にあり、伐採と搬出費用を考慮すると採算が合わないことが想定されます。

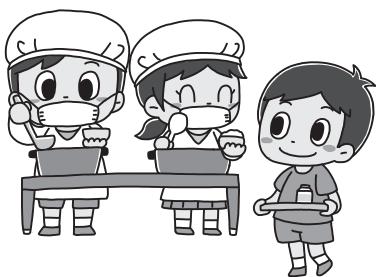
資源ごみのうち、スチール缶、アルミ缶を分別した後、売却し、540万8217円、ペットボトル及びキャップ、トレー等も売却し、553万3247円、古紙等で474万3725円の歳入となっており、平成30年度の総額は2228万3509円となりました。本市としては、平成28年1月8日に通知された「店頭回収された廃ペットボトル等再利用促進について」において、事業者から搬入されている廃プラスチック類について引き続き処理する方針です。

問 今後について伺います。

問 現状について伺います。

市有林について

茂木 光雄



答 公有財産台帳に記載されている平成30年度末の山林面積は377万3923・66平方メートルで、場所は上日野、三波川、保美濃山、坂原地区等です。木材の種類は、ヒノキ、スギ、アカマツ、クロマツ、ナラがあり、林齢は14年生から83年のもので、木材

問 現状について伺います。

第3次藤岡市環境基本計画について

問 ごみ減量とリサイクル推進について伺います。

答 平成30年度は平成29年度と比較し、可燃ごみは



## 児童発達支援センターについて

針谷 賢一

問 本市における発達の障がい、発達のおくれ、子育てに困難な未就学児の現状はどのようにになっているのか伺います。

答 今年5月末時点で児童発達支援の対象となる未就学児が33人、保育所等訪問支援の対象となる未就学児が23人となっています。

問 本市として児童発達支援センターの設置計画がありますが、計画どおり設置されるのか伺います。

答 本市でも国の指針を踏まえ、平成30年に策定した藤岡市障害福祉計画において、県や地域の療育の関係機関と連携し、令和2年度末までに児童発達支援センターの設置を目指すこととしています。

問 以前、高速バス、乗り

合いバス等の専用の場所を設ける話もありましたが、実現に至りませんでした。その要因は何か伺います。

答 計画地は企業や住宅が混在している場所であるため、地権者が多く存在することです。

高額になると予想されたこと、昨今の経済状況等から、なかなか進出していただけた事業者があらわれない状況であることが要因と考えています。

整備検討委員会を設け、新しい産業交流拠点として、

10年、20年後のにぎわいと活力あるまちづくりを見据えた検討を、今後も引き続き行つていきたいと考えています。



## 市政運営について

関口 茂樹

### 財政改革について

問 経常収支比率が高いと財政の弾力性が失われて、新たな時代に応じた施策に

対応できなくなります。

答 市長の「経常収支比率98%に危機感はない」という

考え方。今も同じでしょ  
うか。市長は既に議会でも、  
歳入歳出の両面から徹底した  
行政運営、あるいは政  
策づくりの基本は、今日ま  
での本市の経緯をまずは承  
認して、政策づくりにかか  
わっていく。先人の努力を  
知つて初めて新たな時代に  
向けての政策が打つていけ  
ます。

花と緑のぐんまづくり in  
藤岡は、当選するや否や県  
当局に働きかけて誘致でき  
た事業で、行政と市民が一  
体となつたまちづくりのき  
っかけにしたいと思います。

さまざまな制約の中、さ  
しつかりと藤岡6万500  
人の市民を守つていく。  
さらに将来に向けて期待が  
持てる財政運営をしつかり  
やつていこうと思います。

答 経常収支比率に大変注  
視することは行政長として  
当然のことです。投資的経  
費をどう生み出すか、いつ  
も真剣に考えながら行政運  
営をする。新たな施策を打  
つっていく。これは当然のことだ  
と思います。



## ◆ 6月定例会 一般質問 ◆

### 森林政策について

橋本 新一

**問** 本市の森林面積と過去3年間の課税面積及び課税額について伺います。

**答** 森林面積は、群馬県森林業統計によると、1万486ヘクタールです。課税面積と課税額は、平成28年度課税面積5620万5259平方メートル、課税額1662万1486円。平成29年度課税面積5618万7431平方メートル、課税額1661万3716円。平成30年度課税面積5613万2368平方メートル、課税額1660万5092円です。

**問** その不届け分の事務処

0万4000円です。

理はどのように行なわれたのか伺います。

**問** 市を経由して支払われた林業事業関係補助金の内、多野東部森林組合に支払われた過去3年間の金額について伺います。

**答** 平成28年度は5事業で782万4000円、平成29年度は5事業で1812万5000円、平成30年度は4事業で1201万3796万円です。

### 主要政策について

旧公立藤岡総合病院跡地は利活用検討委員会を設置し、方向を諮問したとの事ですが、市役所も建てかえの基金を積み始めました。

運営を進めます。また、高齢者の集いの場の創出に力を入れてきます。

**答** 平成25年9月20日付で多野東部森林組合からん末書が提出され、平成20年度から平成24年度までの伐採届及び伐採後の造林届及び森林法第15条の森林施業計画に係る伐採等の届出書を提出させました。



県内の金融機関では遠隔手話通訳を導入しているところもありますが、市も図書館や郵便局、金融機関等とシステムを結びサービスを実施する考えがあるか伺います。

### 国際交流について

吉田 達哉

**問** 現在の英語圏都市との交流について伺います。

**答** 平成21年度の集約化事業で、上日野地内の伐採去3年間の金額について伺います。

**答** 平成27年にリジャイナ市より姉妹都市提携の問い合わせがあり、人的交流・文化交流を中心としたフレンドシップ協定を締結する方向で意思統一できました。今後は市長が訪問し、協定を結ぶ予定です。

**問** 生活支援体制整備について伺います。

**答** 地域支え合い協議体の

行政施設を集約することで利便性が向上すると思いますが、考え方を伺います。

**答** 現在、委員会で検討を始めたので、報告を待ちたいと思います。

**答** 聴覚に障害のある方の自立と社会参加を促進するために非常に大切なことですので今後協議します。

**答** 義足や人口関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方等、外見から分からなくても援助が必要な事を知らせるカードです。準備ができ次第交付します。



# 市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と隨時に開催する臨時会があります。

## ○本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

## ○委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40-2377

## ■9月定例会（予定）

※議事の都合により変更となる場合があります。

月 日	時 間	摘 要
9月 2日(月)	10:00	本 会 議
9月 3日(火)	10:00	本 会 議
9月 5日(木)	10:00	常任委員会
9月 6日(金)	10:00	常任委員会
9月10日(火)	10:00	一般 質 問
9月11日(水)	10:00	一般 質 問
9月13日(金)	10:00	決算特別委員会
9月17日(火)	10:00	決算特別委員会
9月19日(木)	10:00	本 会 議

## 議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、6月20・21日に行われた令和元年第3回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。ぜひ、ご覧ください。

## ふじおかほっとメールから議会の情報を発信します！

▶▶▶ 会議の日程などに関する情報を配信しています。ぜひご活用いただき、議会の傍聴にお越しください。

### ■登録を始める前に

ご使用になる携帯電話で迷惑メール対策をされている場合は、次の2点についてご確認／設定をお願いいたします。

● 「city.fujioka.gunma.jp」ドメインからのメール受信を許可する設定にしてください。

● URL付きメールの受信を許可する設定にしてください。

### ■登録はこちら

● パソコンで登録 → <https://service.sugumail.com/fujioka/member/>から

● スマホなどで登録 → 右QRコードから



委 委 委 委 委 委 委 委  
員 員 員 員 員 員 員 員  
吉 田 針 痕 小 関 中 大 久 保  
田 川 谷 田 西 口 澤 協  
達 德 賢 行 貴 茂 秀 協  
哉 一 隆 子 樹 平 城  
議会だより編集委員会

第3回定例会での一般質問は10名が登壇し活発な議論が行われました。議会だより編集委員会も新たなメンバーとなり、透明性を持った開かれた議会活動を分かりやすく伝えられるよう紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

4月に行われました統一地方選挙において、定数を2名削減して改選された18名の議員が心新たに議会に臨んでいます。

編

集

後

記